

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-08-01

No. 122

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 60086-4 Ed. 5.0 (2019-04) パート 4: リチウム電池の安全性 解釈シート 1 3	7
IEC: 新規格リスト	9
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 180 回セッション報告書(3/3).....	13
UNECE: 自動レーンキーピングシステムの国連規制採択: 「レベル 3」自動車両の導入	15
国際テーマ: CB スキームの年次運営会議のハイライト	16
国際テーマ: プレグジットに関する最新情報 - 英国と EU の規制の状況	17
国際テーマ: 中国における暗号製品の新認証スキーム	17
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	17

USA: FCC: Part 30: KDB: ミリ波デバイスの適合性を証明するための測定手順は?	18
USA: FCC: 6 GHz 帯の免許不要利用: UWB アライアンスからのコメント期限延長要請を却下 19	19
USA: CPSC: 消費者製品安全情報データベースの改善に関する CPSC ウェビナーを開催	20
USA: NRTL: 米国国家認定試験所における適切試験規格に影響を与えるポリシーの改定	21
USA: NRTL: OSHA による、国家認定試験所の工場検査に影響するポリシーの一時的な改訂	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	23
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: カナダ適合性評価機関 (CAB) としての指定を求める申請者に対する一般要件	23
カナダ: カナダの適合性評価機関 — オーストラリアの指定要件に関するガイド	23
カナダ: SRSP-520 — 3450~3650 MHz 帯域システムの技術要件	24

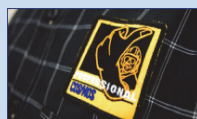
EU, UK: Brexit: 工業製品に関連した EU 規則に関する利害関係者へのガイダンス(3/4).....	26
EU, UK: Brexit: 移行期間: モータ車両の型式承認への影響に関するガイダンス	28
EU: 医療機器に対する欧州連合全体の特例に関する委員会のガイドライン	28
EU: 医療機器: COVID-19 必須デバイスの適合性評価を実施する通知機関に関する調査	29
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	31

中国: SAMR: 自動車排気ガスリモートセンシング測定システムの校正規範等の発行	32
中国: SAMR: 乗用車企業平均燃料消費量・新エネルギー自動車ポイント並行管理弁法の改正	32

中国: CNCA: 爆発性環境で使用される電気・電子製品の強制認証の実施要件の一層の明確化 33	34
中国: SRRC: 北京市は 2020 年に 5G 基地局を 1 万 3,000 カ所に建設	34
中国: CQC: 民生用軽少型ドローンの航続性能認証規則を改訂	34
中国: 新規格リスト	35
台湾: 検査対象の両端接続式発光ダイオード (LED) ランプ商品の関連検査規定を改正	35
台湾: 新規格リスト	35
韓国: RRA: 高出力・漏洩電磁波の安全性の評価基準及び方法等に関する告示の改正令案	36
韓国: KATS: 電気用品安全基準 2 種 (KC 60335-2-29、KC 10023) の改正告示	37
韓国: KATS: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正 (案) 行政予告	37
マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年] (9/9)	37

総務省: 4G 周波数における 5G の導入及び BWA の高度化: 電波監理審議会会議資料	40
総務省: 情報通信審議会 情報通信技術分科会第 150 回資料: ローカル 5G、WPT システム	41
経済産業省: 電気用品安全法に関する質問について: 子供向けの装飾を施した電気製品	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (通達) の一部改正	42
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2020 年 7 月分)	43
国土交通省: ラストマイル自動運転車両システムのガイドラインを策定しました!	44

ちょっといづく~小クイズコーナー 中国の暗号製品に要求されるマークは?	17
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: IEC 60086-4 Ed. 5.0 (2019-04) パート 4: リチウム電池の安全性 解釈シート 1

- IEC 60086-4 Ed. 5.0 (2019-04) 一次電池-パート 4: リチウム電池の安全性 規格に対し、その解釈シート 1 2020 が、発行された。
- 規格本体を読んでも、飲み込み可能なバッテリーswallowable batteries のすべてのマーキング要件とそれらの要件の目的を理解するのが難しいと考えられ、本シートにより 詳細な説明を試みたものである。その内容を、紹介する。
- 「表 1-飲み込み可能なバッテリーのマーキング要件」が新たに設けられ、解釈を容易にしようとしている

UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 180 回セッション報告書(3/3)

- 車両規制の整合化のための世界フォーラム第 180 回セッション(ジュネーブ、2020 年 3 月 10 ~12)が開催され、報告書 ECE/TRANS/WP.29/1151 が、発行されている。
- XIII. 既存の規制の修正と正誤表、及び新しい規制の提案
-- 提出された文書に対する投票の結果は、第 12 条の手順の規則および 1958 年協定の改訂 3 の付録に従ってここに報告されている。Regulation No. 10 電磁両立性 Suppl.1 to 06 等が、投票の結果、採択された。
- XX. 新しい国連 GTR、及び確立された国連 GTR の修正の進展
 1. UN GTR No. 13 (水素および燃料電池自動車 (HFCV) -フェーズ 2)
 2. UN GTR No.15 (世界的に統一された軽自動車試験手順 (WLTP) -フェーズ 2)
 3. UN GTR No.20 (電気自動車安全 (EVS))等々が報告された。

USA: FCC :Part 30: KDB: ミリ波デバイスの適合性を証明するための測定手順は？

- ミリ波デバイスの適合性を証明するための測定手順に関する質問と回答: FCC 規則のパート 30 の対象となるミリ波 (mmW) デバイスの評価に関するガイダンスについては、添付文書「842590 D01 上部マイクロ波帯の柔軟な運用サービス v01r01」を参照すること。ANSI C63.10-2013 の第 9 項は、ミリ波デバイスの適合性確認測定を実施するための一般的な測定手順を規定している。

EU,UK: Brexit: 移行期間: モータ車両の型式承認への影響に関するガイド

- 2020 年 2 月 1 日、英国は EU を離脱した。「離脱協定」は、2020 年 12 月 31 日に終了する移行期間を規定している。2021 年 1 月 1 日以降、進行中の Brexit 交渉の結果に関係なく、広範囲にわたる影響が生じるであろう。利害関係者は、準備ができていることを確認する必要がある。これを支援するために、欧州委員会は、英国との 50 条交渉中に発表した 100 を超えるセクター固有の利害関係者の「準備通知」を見直し、必要に応じて更新している。

総務省: 4G 周波数における 5G の導入及び BWA の高度化: 電波監理審議会会議資料

- 第 4 世代移動通信システム (以下「4G」という。) 及び広帯域移動無線アクセスシステム (以下「BWA」という。) で使用している周波数帯については、モビリティの確保等に向けて広域な 5G エリアを構築するためにも、5G としても利用したいというニーズがある。このため、4G 周波数における 5G の導入及び BWA の高度化等に向けた制度整備等を行う。

2020年7月17日
濱口慶一

新型コロナウイルス問題がまだ収まっていませんが、皆様は元気にお過ごしのことと思います。

残念ながら、あるお客様から内部で感染者が出たとの通知があり、立ち会い試験の急遽変更など、弊社の業務にも影響が出てきました。この原稿を書いている時点で、22日に東京でお客様と打ち合わせの予定がありましたが、WEB会議になりそうです。このような現状ですので、立ち会い試験や打ち合わせで遠くから松阪事務所まで訪問していただくなくてもWEB会議や携帯のTV電話機能を駆使することで、皆様や弊社のスタッフがコロナ禍に巻き込まれないようにしていきたいと考えています。ご協力をいただいたお客様には見積もり金額の10%オフをCS部担当者に指示していますので、ぜひご利用下さい。

72歳の今、孫の成長が楽しみで、後5年、10年は生きていたいという気持ちは確かにあります。しかし、生意気に聞こえるかもしれませんが、小さくても企業を興した以上、コロナ怖さに社員やその家族、お客様としての企業の方々にも少しでもご迷惑をおかけしてはならないという想いが先に立ってしまいます。監督省庁や県などから、県境を越えないようにとの強い指導もありますが、お客様との約束は守りたいという想いはなかなか消すことができない現状です。昔は言われていたと思いますが、倒れる時でも前に倒れて死にたいと考えていますと口にするのは、今の世の中には通用しないことなのでしょう。

日本国内には立派なスーツ、タキシードを着た紳士の銅像が多い。ところが、建立されてから数年も経てば誰も慕って訪問もしてこない。しかし、一度は国賊と指を指され、西南戦争の責任をとって切腹した西郷隆盛は、浴衣姿で愛犬と共に上野の山に立ち、およそ150年経った今も多くの人々が訪問する。何故だろう？少し前にも書いたことがあります。未だ明確な答えは見つかっていません。そんなことを考えていたら、保育園に孫を迎えに行くじいじの仕事が当分取り上げられることになりそうです。

弊社は先月末で無事に第33期を終え、事業税を支払い、社員には心ばかりの賞与も出せました。これも皆様方の暖かいご支援の賜物です。第34期に入り、電気用品安全法に基づく登録検査機関、改正薬事法に基づく登録認証機関などの認証業務、評価試験、海外申請代行などの業務に一層励みたいと思います。特に医療機器認証業務では、お陰様で国内トップクラスの認証件数を維持できています。申請者の皆様方から弊社の照会事項に関して厳しい声をいただくことがあり、私の認証業務に対する考えが間違っているのかな？と考え込むことも多々ありますが、向殿先生も唱えておられる“安心・安全”を求めるのが弊社の姿勢ですのでご理解下さい。ただ、一方的に理解を求めることはいたしません。納得しがたい弊社の指摘事項には、苦情としてどんどん私にぶつけてください。私が製品安全業界で積み重ねた40年以上の経験を基にお答えします。

私は、失敗やお客様からの苦情は宝物と理解して対応するように社員に指導しています。人間ですから1回は失敗もするでしょう。しかし、繰り返される失敗は失敗した本人の上司の力不足、指導不足でもあり、知識や力量の向上への努力を怠ったものと考え、上司にも厳しく指導します。失敗してお客様にご迷惑をかけるのは自分にとって一番の恥であり、過去の失敗を反省して繰り返さないために大切なことだと思うからです。

お客様からいただいた業務の中から得た、多くの“製品安全ノウハウ”もまた宝物です。それをスタッフに整理させ、必要なエビデンスを書き込んで、お客様にその“製品安全ノウハウ”をお返ししようと計画しています。現在弊社を支えてくださっているお客様にはもちろん、過去に一度でも弊社を使っていたお客様にも、もう少し時間がかかりますが必ずお届けします。お客様からいただいたご意見などを反映して、改訂版を出していきたいと思っています。

新型コロナウイルス問題もまだまだ先が見えず、深刻な状況です。感染を気にせずに自由に移動できる時が必ず来ると信じています。皆様も三密を避けていただき、創意工夫で乗りきりましょう。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-08-01 (No. 122)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。